

令和4年度 学校評価総括評価表

徳島県立名西高等学校

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
生徒指導の充実	①基本的な生活習慣の確立 ②交通安全教育の推進	生徒指導課 各学年主任	評価指標	評価指標の達成度	(評定)		
			① 遅刻者数を700人以下にする。 (R3:726人)	①			
		② 交通事故防止と交通マナー向上の指導を徹底させ、登下校における交通事故を年間3件以内にする。(R3:3件)	②	(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
生徒指導課 各学年主任	① 登校指導や「遅刻ゼロの日」、「考査時の5分前登校」の取組みを充実させる。また、遅刻カードで遅刻数や理由を確認し、個別に指導する。声かけ指導も毎朝実施する。	①					
	② 登校時の立哨指導（毎日） 街頭指導（月1回） 交通安全街頭キャンペーン（年2回） 車体検査と通学別集会（年3回） 交通委員会による挨拶運動（月1回）の実施。	②					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
人権教育の充実	①自他を大切に する心や態度の育成 ②教育相談の充実	人権国際教育課 生徒指導課	評価指標	評価指標の達成度	(評定)		
			① 3年生対象の「人権に関する意識調査」で、人権課題に取り組む意欲を示す回答を95%以上にする。(R3:97%, R2:93%)	①			
			② 学校いじめ防止方針に基づき、未然防止に努め、いじめによる特別指導を0件にする。(R3:0件)	②			
		③ 生徒理解に努め、必要に応じた職員研修やケース会議を行い、生徒理解・支援に努める。	③				
		人権国際教育課 生徒指導課	活動計画	活動計画の実施状況			
			① 多様性や人権を尊重し、いじめ・差別を許さない生徒の意識や態度を育てる人権HR活動や人権映画鑑賞会・講演会等を行う。	①			
② いじめに関するアンケートを年2回実施し、早期発見に努める。また、いじめは絶対に許さないという姿勢を全校集会等で明確にし、生徒が相談しやすい環境をつくる。	②						
③ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、ケース会議を行い、生徒理解・支援に努める。	③						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
キャリア教育の充実	①社会的自立のために必要な能力や態度の育成 ②個々の生徒に応じた進路の実現 ③探究活動の推進	進路指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			① 最終進路先に満足する生徒の割合が95%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が93%以上。(R3:進路先に満足95%、進路指導に満足93%)	①			
			② 2・3学年での志望理由書に関する取組みに対して、アンケートによる生徒の満足度85%以上。(R3:83.5%)	②			
			③ 全生徒と各学期に1回以上進路や学習、生活面についての面談をする。	③			
		進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (所見)		
			① 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	①			
			② 志望理由書に関する取組みを2・3学年の年間計画に位置づける。各ホームルームでの事前指導を経て、志望理由書模試を実施し、事後指導の後、アンケートで生徒の満足度を確認する。事前指導の中で講演会も実施する。	②			
			③ 生徒と担任、学年団との面談を実施し、個別にきめ細かい指導を行う。	③			
		④ エンカル消費についての講演会を聴いたり、一人一台タブレットを有効活用して、自ら必要な資料を収集する。	④				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
学習指導の徹底	①基礎的・基本的な学力の育成 ②読書習慣の定着	教務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が50%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R3:2時間以上の者の割合は56%、ゼロ時間の者の割合は2%)	①			
			② 授業評価アンケートを実施し、生徒の授業満足度90%以上。(R3:とてもわかりやすい25.8% わかりやすい64.59%)	②			
		教務課	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (所見)		
			① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	①			
			② 教科会等で授業研究を行い、わかりやすい授業の実施と学習評価の研究に努める。	②			
		③ 教科・科目と連携して推薦本を紹介し、さまざまなジャンルの本に興味・関心を持たせ、貸出冊数の増加につなげていく。	③				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
文化芸術活動の推進	①芸術科の生徒の育成と芸術科の魅力化の推進 ②国際理解教育の推進	芸術科 英語科 特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
			① 文化芸術リーディングハイスクールとして、音楽・美術・書道が一体となる「名高フェスティバル」を成功させる。来場者500名以上。(R3:来場者409名)	①		
			② 芸術科の各行事や日々の活動の取組みを、ホームページやさまざまな機会を通じて効果的に案内・広報する。更新数50回以上。(R3:更新数49回)	②		
			③ 高文祭では全国大会に3部以上、各種大会・コンクールについては全国規模の入賞・入選数80。(R3:高文祭4部門、入選82)	③		
		④ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識を高めた生徒の割合70%以上。(意識の高まりR3:66%, R2:76%, 講演会R3:0回, R2:0回)	④			
		芸術科 英語科 特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 「第2回名西高校フェスティバル」の充実を図るため、あらゆる機会を捉えて作品の応募やコンクールへの出場を行う。	①		
			② 各コースの担当者は、芸術科の各行事や日々の活動の取組みを、ホームページに掲載する。	②		
③ 文化部の活性化を図り、大会参加や活動の機会を活かし、粘り強く指導する。	③					
④ 全校生徒対象の講演会等を実施したりALTも積極的に活用し、生徒の国際理解を深める。	④					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
地域社会との連携	①地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進 ②PTA、同窓会との連携強化 ③地域の関係団体との連携を通じ、社会の一人としての自覚の醸成	総務課 情報科 生徒指導課 芸術科	① 自主的にボランティア活動を行った生徒が、全校生徒の60%以上。 (R1:52.8% R2・R3は様々なボランティアイベントが中止)	①	(評価)		
			② 藤花同窓会と学校が連携して充実した同窓会活動を実施する。藤花同窓会の活動について、在校生や地域に周知・広報し、総会に多くの会員が参加する。	②	(所見)		
			③ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで掲載、月に10回以上の更新を行う。	③			
			④ 地域社会と連携し、県内唯一の芸術科を有する学校として、芸術・文化を広める拠点校となる。	④			
			⑤ 展覧会・演奏会等の広報活動（ホームページ・ポスター・新聞等）を迅速に行うとともに、中学生を対象とした行事や近隣施設での活動の充実を図る。 (R3:中学生対象行事Zoom参加者36名)	⑤			
			⑥ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全のため、パトロールや挨拶運動、美化活動を年30回以上実施する。(R3:32回)	⑥			
			⑦ 交通安全キャンペーンを年2回以上実施し、交通マナーの向上と地域の交通安全に貢献する。(R3はコロナのため中止)	⑦			
				活動計画	活動計画の実施状況		
			総務課 情報課 生徒指導課 芸術科	① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。	①		
		② 百周年記念事業実行委員会を開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会員となる自覚を促す。		②			
		③ 各課にホームページ更新作業担当の教員を置き、学校行事や授業の様子、部活動の取組み等を紹介する。		③			
		④ 地域での文化祭や展覧会、文化行事において、生徒の演奏会や作品交流を実施する。		④			
		⑤ 校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールでの公開授業や中学生のための音楽・美術・書道教室を実施する。		⑤			
		⑥ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。		⑥			
⑦ 徳島名西署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑦						